

No.	題名	制作	時間	幼	小低	小中	小高	中	高	一般	内容	制作年
129	ほんとの空	東映株式会社	36分					○	○	○	高齢者や外国人に対する排除、不利益な扱い、同和問題や原発事故に伴う風評被害の問題、これら多くの人権課題に共通する根っこの部分は、私たちの誤った考え方や思い込み、偏見という「意識」です。誰もが他者の排除や差別がよくないことは理解しています。その一方で、私たちは自分や身近な人に関わる出来事には敏感に反応するけれど、それ以外のことには他人事のように感じたりします。また、私たちは、自分や家族の生活を守るために、あるいは誤解や偏見に気づかずに、他者を排除したり、傷つけたりしがちです。このドラマの主人公・弓枝もそんな一人です。弓枝の心を揺さぶったのは、息子である輝の友だちを思う純粋な気持ちと、同じ集合住宅に他国から引っ越してきた隣人です。誤解や偏見に気づき、人と深く向き合うこと、他者の気持ちを我がこととして思うこと、すべての人権課題を自分に関わることとして	2012年
115	わたしたちが伝えたい、大切なこと ～アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト入賞作品～ (DVD)	東映株式会社 企画 法務省 人権教育啓発推進センター	31分					○	○	○	このDVDは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて製作されました。どの作品も、日常生活の中での「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して、「人権って何だろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。  「差別のない世界へ」(人種による偏見や差別) 「手伝えることはありますか」 (障がいと偏見、障がい者スポーツ) 「共に生きるということ」(障がいと偏見、視覚障がい)	2017年
117	企業と人権 ～職場からつくる人権尊重社会～ (DVD)	東映株式会社 企画 法務省 人権教育啓発推進センター	40分						○	○	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行ったりする企業も増えてきています。 ※「外国人に対する差別」に関する内容を含みます。 このDVDは、企業向けに実施する研修会などで活躍しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	2017年

No.	題名	制作	時間	幼	小低	小中	小高	中	高	一般	内容	制作年
113	外国人と人権 違いを認め、共に生きる (DVD)	東映株式会社 企画 法務省	33分					○	○	○	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために、何ができるのかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くためにどのようなことが問われているのかを学びます。	2016年
108	すべての人々の 幸せを願って ～国際的視点から考える人権～ (DVD)	東映株式会社 企画 法務省 人権教育啓発推進センター	35分					○	○	○	世界には、性別や人種、肌の色の異なる人々、大人や子ども、障がいの有無など、一人ひとり違いをもったたくさんの人たちが暮らしています。すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、私たち一人一人が人権に対する理解を深め、相手の違いを認めつつ、同じひとりの人間として相互に尊重し合うことが必要です。 この教材は、・国連の人権のへの取り組み【5分】・女性の人権【9分】・子どもの人権【7分】・障がいのある人の人権【9分】・外国人の人権【6分】で構成されています。	2015年
111	わっかカフェへようこそ ～ココロまじわるヨリドコロ～ (DVD)	東映株式会社 企画 東京都教委	32分					○	○	○	このDVDは、「人権」を自分の問題として、また、日常の問題として考える機会となるように制作したものです。「インターネットによる人権侵害」「高齢者の人権」「外国人の人権」をドラマで描きました。人権学習だけでなく、放課後子ども教室スタッフのための研修や家庭教育、ボランティア活動など、幅広い場面で活用できるように構成しています。	2015年
109	未来を拓く5つの扉 ～全国中学校人権作文コンテスト 入選作品朗読集～ (DVD)	東映株式会社 企画 法務省	35分					○	○	○	このDVDでは、全国中学生人権作文コンテスト入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。中学生が作文の中でつづがやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それがきっと、新しい明日への一歩につながっていくでしょう。 「本当の国際化とは」(ハイトスピーチ、外国人) 「電車内に咲いた、笑顔の花」(高齢者) 「立ち止まる」(子ども、いじめ) 「NO!と言え強い心をもつ」～ハンセン病から学んだこと～ (ハンセン病、いじめ) 「絆」(障がい者)	2014年